

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>子どもが発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画への理解を深めることができるよう、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習、保育を充実させます。</p>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------

11		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修等に積極的に参加し、園内研修にも取り入れるなど、職員全体の意識向上につなげるとともに、日々の保育においても人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育・保育を進めていく。 男女共同参画のモデル保育所を丸亀市保育所ブロック会として毎年度1か所ずつ設置し、保護者参加の家庭教育講座の開催などの研究事業を行っていく。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修の機会を持つ。（各園：年間1回以上参加） 人権（生命の尊さ、障がい、異文化、男女など）について、子どもたちの年齢に応じて、分かりやすく伝える日々の保育を大切にするとともに、そのための教材研究を行う。 年6回保護者参加の集会を計画し、保護者への啓発に努める。 男女共同参画のモデル保育所として、担当園は、できるだけたくさんの保護者が参加できるような事業を計画し、年1～2回開催する。 							
H30事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の男女共同参画職員研修に参加者に偏りがないようにし、積極的に参加した。平成30年度は、保育所・幼稚園・こども園より3名の参加。 年度初めに計画された研修について、計画通り実施し、保護者の参加も増えつつある。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 職員の研修について、順次参加することによって、どの職員においても意識が高められている。 日々の保育を通して、いろいろな教材の工夫や環境を考えて取り組んだことで、子どもの人権意識や、男女共同参画の視点に立った教育・保育は浸透してきていると感じる。 継続して取り組むことで、個々の認識や職員の男女共同参画の意識は高められている。 日々の保育を通しての人権尊重や、男女共同参画の視点に立った教育・保育は、子どもたちに浸透している。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な研修からの学びが、園・所の職員や子ども・保護者など、全体に広がるように園内研修においても継続して行っていくようにする。 研修時だけの学びにならぬように、参加は継続し、園内研修にも取り入れ、職員全体の意識向上に努め、日々の保育に役立てるようにする。 子どもたちに伝える際に、より分かりやすく、理解しやすいような工夫や教材を模索する。 保護者へのより多くの参加が促されるような計画や日程調整が必要である。 							

12		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達段階に応じ、各教科や特別活動等、学校教育全体を通して、人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を進めていく。 校長会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行うとともに、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設ける。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 各校の年間計画の中に人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を必ず位置付ける。 校長会の中で、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を年間を通じて複数回行う。また、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設ける。 							
H30 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を年間計画の中に位置づけ、学校教育全体を通して計画的に指導を行った。 校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行った。また、各小・中学校に相談窓口となる教員を、児童・生徒、教員の別に設けた。 							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	<ul style="list-style-type: none"> 教科だけでなく、教育活動のあらゆる場面において計画的に学習指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画について意識させることができた。 							
事業の実 施状況 を踏ま えた課 題	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒、教員が人権尊重や男女共同参画における活動が日常から意識できるような教育環境を整備していく事が課題。 							

施策の 内容	教職員や保育士が、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深められる機会を提供します。							
-----------	-----------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

13		数 値 目 標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭や保育士が積極的に研修等が受講できるよう配慮することにより、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深めていく。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の理念とジェンダーについての理解と認識を深める研修を実施する（参加者 幼稚園：半数以上の職員、こども園：2名以上の参加） ジェンダーに関する研修に職員が参加するとともに、園内研修としてジェンダーに関するテーマを設け、職員間で話し合う機会や関係する教材・書籍からも、身近なこととして感じられるようにする。 							
H30 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 研修会において男女共同参画の理念とジェンダーについての理解と認識を深めた。 市や他団体が企画したジェンダーに関する研修に代わり合い参加し、理解と認識を深める場となっている。 							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー、LGBT等に対し、共通した適切な理解と認識が浸透してきている。日々の保育においても、その認識のもと教育・保育が進められている。 所内研修の中で事例を共有しながら、職員会で話し合ったり学んだことを、深める場となり共通理解が図れた。 							
事業の実 施状況 を踏ま えた課 題	<ul style="list-style-type: none"> 継続して研修会に参加し、職員全体の意識向上につなげていく。日々の保育において理論と実践がつながっているかを検証しながら、意識が高まるように積極的に取り組んでいく。 							

14		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画研修の周知を職員へ行う。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 6月に男女共同参画研修の周知を職員へ行う。 							
H30 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 8月に男女共同参画研修に68名の教員が参加した。 6月に丸亀市において、LGBTに関するアンケートを行ったり、周知したりした。 各小中学校に対してパンフレットを配布し啓発を行った。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等を通して、教職員のLGBTへの理解が深まった。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の参加者については、いろいろな研修が重なるため全員参加をすることが難しく特に若年の研修が重なるため、特定の教員だけの研修になっている。日程を調整しながら、全教職員への研修会等への参加を呼びかける必要がある。 							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>幼保運営課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場の職員が研修に参加できたことで、より多くの職員が男女共同参画の意識をより高めることができています。子どもたちの年齢に応じて、分かりやすく、理解しやすいような工夫を施し、日常の中で、人権尊重や、男女共同参画の視点に立った教育・保育が実施できていた。 ・保護者の参加も増えつつあるが、より多くの参加が促されるような計画などが必要である。 ・ジェンダー、LGBTに関する研修に参加し理解と認識を深めていた。また、園内研修での共通理解を行うなど、引き続き積極的に研修等に参加し、職員全体の意識向上を図り、日々の保育においても、その認識のもとで教育・保育が進められている。
<p>学校教育課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<p>各教科や特別活動等において、人権尊重や男女共同参画の視点に立った教育を年間計画の中に位置付け、教育活動全体を通して充実した教育が行われた。また、校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメント防止についての指導を行ったり、学校現場における相談窓口となる教員を、児童・生徒・教員の別に設けたりすることで、問題に対して素早い対応をすることができた。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
<p>B</p>	<p>学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。また、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント等が潜在化していないか、リスクマネジメントに努めることを望む。</p>

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	----------------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>子どものころから、家庭生活を基盤とした人生設計と、生涯の仕事やキャリアについて学び、考える機会を提供します。</p>
--------------	---------------------------------------------------------------

15		数値目標						目標値
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	
H30事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において地域の事業所等を訪問し、職業について考える機会をもつ。 ・中学校において職場体験活動を実施し、勤労観や職業観を育成する。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において地域の事業所等訪問を実施する。(17校) ・中学校において職場体験活動を年間計画に位置付け、実施する。(6校) 							
H30事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校17校において地域の事業所等訪問を実施した。 ・中学校6校において職場体験活動を実施した。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に向け、学ぶことと社会との接続を意識させることができた。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の協力を得ながら、各校の実情に合わせた活動を継続していく必要がある。 ・事業所訪問や職場体験活動後の振り返りにおいて、男女共同参画の視点についての話し合いが十分されていないことが課題。 							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	----------------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
学校教育課長	B⇒ B	地域の協力を得ながら、小学校では事業所訪問、中学校では職場体験学習を行うことができた。このことにより、男女が協力して社会に参画していく必要な基盤となる資質・能力の育成に向けて学ぶことができた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	目標2【1】や目標7【1】も同様であるが、学校現場の取り組みを記載するのではなく、環境整備や支援について、課として何をするのかを具体的に記載することを望む。子どもが職業選択の幅を拡げ、多様なチャレンジができるよう、積極的な情報提供に努めることを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>

<p>施策番号</p>	<p>【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供</p>
-------------	---------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>男女がともに、社会の様々な事柄を男女共同参画の視点で理解し、豊かに生きる力を養うことができるよう、また、家庭や地域において、男女共同参画の視点を持って子どもを教育することができるよう、情報や学習機会を提供します。</p>								
	16	<p>数値目標</p>	<p>《指標》 男女共同参画を推進する講演会や講座、セミナーなどの開催回数 ※()は当該年度の目標値</p>						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			年6回	(年8回) 年10回	(年8回) 年7回	(年9回)	(年9回)	(年10回)	年10回
H30事業計画	<p>①男女共同参画セミナー（テーマ：子育て世代の男性料理教室）の開催。 ②男女共同参画モデル保育所による取り組みへの支援。</p>								
H30事業計画に関する具体的な目標	<p>①6回。 ②男女共同参画モデル保育所での男女共同参画講演会開催1回。男女共同参画モデル保育所の活動紹介を市ホームページなどで2回以上実施。</p>								
H30事業実績	<p>①子どもと作ろう!!男性料理教室を5回実施。 ②男女共同参画モデル保育所での講演会は保育園年間計画との調整がつかず、開催できなかった。情報紙『ゆめ』41号の企画において家庭における「家事シェア」の実態調査アンケートに協力を要請し、100人から回答を得る。この結果を踏まえ、子育て世代の現状と意識改革の必要性についてモデル保育所内でパネル掲示を実施。</p>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<p>①男性料理教室の内1回は、今年度開始のキッズウィークに併せ、平日開催とし、休み方改革の具体的取り組みにもつながった。 ②家事シェアに特化したアンケート結果をパネル掲示することにより、保護者間での話題づくりにもつながった。</p>								
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>男性の料理教室は育児世代の男性参加率向上が必要。休み方改革の一手法であるキッズウィークを絡めた実施増を目指しながら、参加者を増やすことが課題。</p>								

17		数 値 目 標						
担当課	市民活動推進課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	家庭の中だけでの子育てではなく、地域活動において老若男女が関わる社会を目指し、家庭・地域・学校の連携をすすめるため、人や資源をつなぐ役割をする「地域コーディネーター」を養成する塾（地域コーディネーター養成塾）を開催する。（コミュニティや学校から推薦を受けた人を対象に、年6回開催予定）							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、コミュニティだけではなく、学校とつながりのあるPTA関係者も推薦してもらい、幅広い人材育成と発掘に努める。 ・地域みんなで活動する姿を子ども達が目にする機会を増やす。 							
H30事業実績	地域コーディネーター養成塾を6回開催し、32名が受講した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	地域コーディネーター養成塾受講生が基点となり、学校と地域を繋ぐ「地域学校協働本部」が新年度に向け2校区（小学校区）立ち上がる予定である。							
事業の実施状況を踏まえた課題	学校と地域との連携が図れていないと、本事業は成立しないため、学校とコミュニティへ足を運び調整を図りたい。							

18		数 値 目 標						
担当課	図書館		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の展示、貸出を行う。 ②男女共同参画に関する図書等の充実を図り、より啓発できるような図書を精選し、貸出を促進する。 							
H30事業計画に関する具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> ①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の閲覧及び貸出を促す。 ②男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、魅力ある関連資料の購入、収集を図る。 							
H30事業実績	男女共同参画週間に併せて中央図書館及び飯山図書館で特別展を行い、関係する本の展示、貸出を行なう。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	男女共同参画週間のテーマに沿った展示を行い、PRに努めた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	男女共同参画週間のテーマが決定してから展示する本を選ぶが、テーマにあった本が出版されていなかったり、本を揃えることが難しい。独自のテーマを設けることも検討したい。							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。

施策番号	【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供
------	--------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	男性料理教室やアンケート結果をパネル掲示、情報誌「ゆめ」の発行を通して、地域社会の中に男女共同参画意識が浸透し始めている。
市民活動推進課長	A⇒ B	地域コーディネーターの受講生32名のうち、半数以上が女性であり、男女が共に地域活動に参画する基盤が形成されつつある。
図書館長	B⇒ B	男女共同参画推進週間にはその年に合わせたテーマを設定し、関係する図書資料展示し、啓発に努めている。綾歌が休館中だったので、中央と飯山で実施した。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	主体的に学習する場で、多世代が交流し、まちづくりを考える取り組みの実施を評価する。それが男女共同参画の視点に気づく機会ともなるよう努めることを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。